



立志（りっし）

高砂市立荒井中学校・学校だより
令和6年3月1日（金）No.17

【学校教育目標】「志を持ち、その実現に努力し、だれもが安心できる学校づくり」

高砂市立荒井中学校長 橋本 尚人

次の一歩に向けて、自分を信じて立ち向かおう！

2月から3月にかけては、3年生にとって「進路決定」の重要な時期です。2月10日の私立高等学校入試、11日の高等専門学校学力検査、14日～15日の公立推薦・特色選抜適性検査、21日県立東はりま特別支援学校選考検査、3月12日には公立一般学力検査と、毎週のように“入試”が続いています。そんな中、嬉しい合格発表がありました。合格通知書を手にするまでに、人知れず努力してきたことや、思い悩んだ日々の苦しみがあったことでしょう。おめでとうございます。もちろん、全員が合格するわけではありません。残念な結果に終わる人もいます。でも、積み重ねてきた努力や苦労は決して無駄にはなりません。何より、合格のために頑張ってきたことは自分自身が知っているのです。中には“さぼった記憶”もあるでしょう。「合格」、「不合格」の差は結果としては大きいものがあります。しかし、「不合格」だからといって、すべてが否定されているわけではありません。むしろ、「不合格」という得がたい経験ができたんだと、前向きに捉えてください。（「合格」したことが良くないと言っているわけではありません。）

長い人生、一度も失敗せずに終えるなんてことはあり得ません。どこかで、大なり小なりの「失敗」をしてしまうものです。大切なのは「失敗」から学び、「失敗」を乗り越える精神的な強さがあるかどうかです。かつて、「15（歳）の春は泣かせない。」と言った京都府知事がいましたが、校長の個人的な経験としては、「15の春は泣いても笑ってもいい。むしろ泣いた方が、その後で大きな笑顔につながる。」と思います。一度不合格を経験した人は、次の進路決定時に、大きな糧（かて）として活かすことができます。「何が何でも合格してやるんだ!」と、心に強く刻んで生活することができるはずです。むしろ、「合格」している人こそ、気の緩みに注意しないといけないですよ。

1年生ものづくり体験学習

1年生は、2月19日に兵庫県立ものづくり大学校に併設されているものづくり体験館で、実習を行いました。体験館の方から、「高砂市は、臨海部に多くの企業の工場があり、まさに“ものづくり”の街です。今日1日、プロの職人さんから技術指導を受け、ものづくりの楽しさを体験し、将来、ものづくり分野で活躍される人が出てくることを願っています。」とお言葉をいただきました。令和の時代に入り、Society5.0やロボテクス、AI（人工知能）等、中学生が将来、社会に出る頃には「ものづくり」の形態も大きく変わっています。しかし、やはり人が手をかけてものを生産するという基本は変えようがないと思います。その意味では、“ものづくり”の技術はかけがえのないものだと思います。よく、AI（人工知能）が、今の仕事に取って代わる、職業がなくなるということが言われますが、“ものづくり”の大切さは失われることはないです。閉会式で、各グループの代表が感想を述べていました。「職人さんの手にかかる、作品がみるみるできあがっていく。簡単なことのように見える作業も、実はやってみると難しい。ものづくりの奥深さを知ることができた。」「難しい作業もあきらめず繰り返しやっていくと少しずつ上手にできるようになる。それがとてもおもしろかった。」「1枚の鉄板が、どんどん立体的になり、作品に仕上がっていくのが凄かった。」「職人さんのこだわりが凄いと感じた。使う人のことを考えてつくる技に感動した。」教室では得られない、貴重な体験学習の経験は、きっとこれからの学びに活かされると思います。将来、この1年生の中から将来のエンジニアや技術者、職人と呼ばれるような人が生まれるといいですね。



第77回卒業証書授与式～大きな節目～

3月15日(金)10時より第77回卒業証書授与式を行います。3年生にとっては、9年間の義務教育を修了する人生で大きな「節目」となる儀式です。3年生は、すでに卒業式で合唱する曲「春風の中で」(山崎朋子作詞・作曲)の練習が始まっています。文化祭で課題曲として合唱した曲です。卒業式の終礼後に、学年合唱をする予定です。また、来週から体育館で式に向けた練習も始まります。さらに、コロナ禍が収束し、吹奏楽部による演奏が復活します。そして、卒業式の最も大切な「卒業証書授与」は、去年に引き続き卒業生が一人一人壇上にあがって卒業証書を受け取ります。その際、担任の先生から名前を呼ばれます。3年生の皆さん、ぜひ、その呼名に、ここまで育てもらった家族や、ともに歩んできた友人、そして担任の先生に向けて「はい。」と万感の思いを込めて返事をしてください。たった「ひと声」です。「はい」という2つの音に気持ちを込めてほしいのです。私は、壇上で一人一人の返事をしっかりと聴こうと思います。



遅刻で“信用”……落としていませんか？

冬の寒さが増してくると、遅刻が増えます。特に3学期になってから朝の登校時間がルーズになっている人が増えています。朝なかなか起きられないのかもしれませんが、荒井中学校では8時15分に校門を通り、8時20分に教室に入ることがルールです。生徒指導担当の先生が校門でチェックをしていますが、1・2分のわずかな時間の遅刻が多いそうです。たった1・2分と侮(あなど)ってはいけません。校門前の市道を

ダッシュで走ると、通勤時間の自動車と重なり、事故の危険性が高まります。実際に、学校に苦情の電話も寄せられています。そもそも、時間とは無限に与えられたものではありません。自分の遅刻が、他の人の時間を奪うことになります。提出物の締切も同様です。わずかな時間の遅刻が自分の「信用」を傷つけていることを知しましょう。



保護者の皆様へ

■卒業証書授与式について 以下についてご理解とご協力をお願いします。

- 保護者の方で、風邪の症状(発熱、せき等)や、息苦しさがある場合は、参列をご遠慮ください。
- 体育館に入られる前には、消毒用アルコールで手指の消毒をお願いします。
- 参列される保護者とそのご家族について、特に今回は人数制限を設けていません。
- 式場の開場は午前9時20分です。それよりも前に来場されると、準備に支障がありますので、早い時間帯の来校はご遠慮願います。
- 式の時間を短縮するため、昨年と同様、割愛する項目がありますが、ご理解ください。
※在校生の参加は行いません。当日は自宅学習です。(ただし、生徒会役員の一部と吹奏楽部は参加します。)

■来年度の教材購入につきまして

令和6年度スタートが1ヶ月後に近づきました。毎年度4月には、新学期に関わる学用品や教材等で、何かとご負担をおかけしています。昨今の物価高により、生徒たちが学習で使う教材(ワーク類)やプリント教材等も値上がりしています。荒井中学校では、少しでも家庭の経済負担を抑えるため、紙を用いない「デジタル教材」の積極的な導入を検討しています。新年度、各教科の担当教師が教材を発注する際に、紙のワーク類を減らし、Qubena(キュービナ)など、AIを搭載した教材を導入する予定です。特に、夏休みや冬休み等の長期休業中のワーク課題等は削減していると考えています。生徒の学習を見ていると、課題範囲の問題に正面から取り組む人もいますが、中には解答の冊子を最初から広げて、答えを“せっせと丸写し”している人も少なからずいます。こうした光景を見ると、何のためのワークなのかと首をかしげます。自分の学習定着度を確認するためのワークが、“提出するため”だけに陥っています。ならば、答えが表示されないタブレットによる教材学習の方が、生徒の学習内容の定着には効果的だと考えます。特に5教科の教材について、従来通りの選択・購入を見直します。ご理解とご協力をお願いいたします。

